

# Macau Incentive Tours News

マカオ インセンティブ ツアー 最新情報

2012 December vol.9

## 201X年 マカオはさらなる発展へ。



プロムナードの完成イメージ

ここ10年ほどで大きな発展を遂げたマカオ。しかし、発展はまだこれからも続く。マカオ内では新交通システム「マカオライトレール」(Macau LRT)の建設が始まり、さらにマカオと香港国際空港を橋で結ぶ「港珠澳大橋」の建設がすでに進んでいる。交通インフラの改善とともに、コタイ地区のさらなる開発や、マカオ半島やタイパの海岸を埋め立て、人工島を複数造成して新しい臨海新都心をつくらうという計画も始まっている。マカオの発展は、むしろこれからが本番だ。

### マカオー香港国際空港間に巨大な橋建設 車で30分の距離に、2016年完成めざす

現在、マカオで最も注目されるプロジェクトが、2016年の完成をめざす「港珠澳大橋」(HK-Zhuhai-Macao Bridge)の建設だ。マカオと香港国際空港を巨大な橋で結び、マカオに隣接する中国広東省の珠海市へ結ぶルートとなり、香港からの珠海デルタ地域への移動をダイナミックに変えようというもの。

マカオと香港国際空港間の途中には人工島を建設し、その間を橋梁や海底トンネルで結ぶ。全長は約50キロメートルにおよび、片側3車線の自動車専用道として建設される。

全長50キロメートルというと、東京から神奈川県藤沢市の手前くらいまでの距離。川崎と木更津を結ぶアクアラインの

全長が15.1キロメートルというから、いかに壮大な計画かが分かるだろう。

「港珠澳大橋」が完成すると、香港国際空港からマカオまで車で約30分の距離になるという。出入国手続きや荷物の受け渡し方法等の詳細はまだ決まっていないものの、現在は高速フェリーで約50分程度かかるアクセス時間が、大幅に改善され、かつ乗り換え等の手間が少なくなることは間違いない。

マカオ側のゲートウェイは、マカオ半島北部の明珠地区に人工島が建設され、すでに埋め立て工事が行われている。この人工島にマカオ側の出入国施設が設けられる計画だ。そして、珠海市へはこの近くの人工島を経由して結ばれる。



「港珠澳大橋」の完成イメージ

### マカオ全地域を結ぶ「ライトレール」建設 域内の移動がより便利に、2015年完成めざす

マカオの注目プロジェクトのもうひとつが、2015年2月の完成をめざし建設が始まった「マカオライトレール」(Macau LRT=澳門輕軌)だ。工期は約4年で、第一期工事ではマカオ半島の広東省の珠海市と境を接するポードーゲート(關閘)から、マカオフェリーターミナルがある沿岸部をたどり、マカオタワーや世界遺産の媽閣廟までを結ぶコースと、西湾大橋を渡り大型ホテルが建ち並ぶコタイ地区を経由し、マカオ国際空港を経て終点のタイパフェリーターミナルに至るまでのルートが設定されて

いる。全長は約21キロで、ルート上には21の駅が建設される予定だ。

当初の輸送能力は一方向あたり毎時7800人規模で、段階的に拡大して2020年までには1万4000人/時にする予定。

今回採用される車両は、東京臨海新交通臨海線(ゆりかもめ/新橋~豊洲間の14.7キロを運行中)等に採用されているようなゴムタイヤ式の「自動無人運



←東京都内で運行中の「ゆりかもめ」(写真)と同様の新交通システムが完成予定。交通渋滞の緩和だけでなく、FITの旅行などで大きく利便性が高まりそうだ。

転車両)。日本の三菱重工業と伊藤忠商事が車両製造や運行システムを受注したことも注目される。

第一期で導入される車両は、4両編成(全長47メートル)で一度に476人が乗車でき、最高時速は80キロ。中国本土や香港の公共交通システムよりは小型車両となる。

所要時間はマカオ半島部分で16分半、タイパ路線は17分ほど。21の駅のうち、少なくとも2駅以上が広州~珠海を結ぶLRTと連絡出来るようになる。これにより、マカオと広州間の移動が1時間圏内



になると言われている。

今回のLRT計画は、マカオと珠海市を一体的に開発する壮大な計画の一環。フェーズ2、フェーズ3のプロジェクトも計画されており、将来的にはポードーゲートから中国本土にも延伸される計画だ。



# マカオを中国レジャー産業の一大拠点に

## 「世界的な観光立国」へ中国政府が全面支援

中国政府が昨年3月に策定した「第12次5カ年計画（2011～2015年）」によると、マカオについては「世界的な観光立国」を目指すとして、一方の香港については金融や物流センターとしての地位向上を目指すことが、中国全体の中での方向性として示された。マカオと香港を含めた一体的な発展に向け、中国政府が全面的に支援するとしている。

この計画書の中では、マカオ経済の適度な多角化を推進するとともに、観光リゾート、および会議・展示会ビジネス等の産業発展にも中国政府が支援すると明記。MICEデスティネーションとしての位置づけも強化する方針が示された。



### 国家級の開発計画が進行中

交通体系の改善でマカオのさらなる発展が見込まれるが、開発計画はマカオだけにとどまらない。コタイ地区に隣接する位置関係にある広東省珠海市の横琴新区 (Hengqin New Area) では、中国政府の国家級開発区に指定され、大規模な開発が進められている。マカオの4倍以上ある敷地に、大型リゾートやレジャー施設が誘致されるほか、現在マカオ半島内にある「マカオ大学」が移設される計画だ。マカオ大学は2013年中にも移転を完了し、広さはいまの約20倍、1万人以上の学生が学ぶ世界有数のキャンパスとして生まれ変わる。

横琴新区にはハイテク産業の工業団地も建設される計画で、マカオ大学は先端テクノロジーを支える高等教育機関に位置づけられる。

このほか、レジャー施設としてアジア最大級の海洋テーマパークが建設される計画。最終的には大型展示場とホテルを併設した一大レジャー施設になるという。

そして、マカオでは20～30年のスパンで「臨海新都心」を造る構想も浮かんでいる。マカオ半島とタイバ地区に挟まれた海岸の一部を埋め立て、10万人以上が住める人工島を造成するという。まだあくまで構想の段階だが、今後、マカオが持続的な発展をめざすことには変わりはない。



マカオに隣接する横琴島は、中国の経済特区として開発が進められ、マカオ大学をはじめ、レジャー施設や先端ハイテク産業の誘致が進められる。

## サウスチャイナ(マカオ)トラベル・渡邊章太郎氏に聞く

SOUTH CHINA (MACAO) TRAVEL AGENCY, Mr. Shotaro Watanabe

### インセンティブ受け入れへさらに拡充したマカオ シェラトン・マカオの開業に大きな期待

現地ランドオペレーターとして30年以上にわたり日本からの旅行者を受け入れてきたサウスチャイナ(マカオ)トラベル。マカオの発展とともにビジネスを拡大してきた。マカオでは現在、行政府の方針としてインセンティブ・ツアーをはじめとするMICEの誘致に積極的に取り組んでいる。MICEデスティネーションとしてさらに進化するマカオ。その魅力と可能性について、同社ビジネス開発ディレクターの渡邊章太郎氏に話を聞いた。

#### 「インセンティブ・ツアー」 にメリット

マカオの発展は目覚ましく、最近では日本でもインセンティブツアーのデスティネーションとしても選ばれるようになってきた。そのマカオの魅力については渡邊氏はまず、日本からのアクセスの良さを挙げる。「レジャーでも言えるが、日本から4時間半で行けるというのは大きい。直行便のほかには香港経由などアクセスにバラエティがあるのも魅力」と話す。また、エンターテイメント都市として、カジノ以外にも世界遺産などさまざまな観光素材が揃う点でも訴求力は高いと指摘する。

ハード面については、宿泊と宴会場が一緒になっているところが多いため、移動が楽。さらに、マカオ自体がコンパクトな街であるため、どこへ行くにも移動時間がかからない点も強調。「トラ

ブルが起きた時でも、すぐに人を派遣できるなどランドオペレーターとして迅速な対応がとれる」と話す。

インセンティブには、その土地らしい趣向が喜ばれる。マカオにもマカオらしいプログラムがあると渡邊氏。そのひとつがアズレージョ (azulejo = 写真) というポルトガル伝来のタイル製作体験だ。「社名などを入れれば、インセンティブらしい体験になるだろう」と提案する。



#### 政府もMICE育成に本腰

日本からマカオへのインセンティブの規模は、50～100人が一番多く、人数が多い時で300～400人、たまに千人単位のツ

アーもあるという。業種は自動車、保険、飲食、化粧品、サービス業などさまざまだ。

マカオには、カジノという大きな産業が経済を牽引しているが、それだけに頼るとリスクがある。そのためマカオ政府はインセンティブをはじめとするMICEの誘致に積極的に取り組み、経済を支える産業に育てるという方針を掲げている。

渡邊氏は、「数年前から、現地の旅行会社、プロダクション、人材、ホテルなどの育成や開発が進み、受け入れ態勢が整ってきた」と話す。MICEデスティネーションとして盛り上げていこうと頑張る若い世代のモチベーションは、非常に高いと実感しているという。

そのなかで、今年9月に一部オープンしたシェラトン・マカオの存在は大きいと渡邊氏。4000室近い客室数があり、大小さまざまな宴会場が揃う。ヴェネチアン・マカオなどともに、「今後利用が増えるのは確実」だと期待をかける。

#### 第一印象を高める努力を

市場でMICEデスティネーションとしての地位を高めているマカオだが、課題もある。渡邊氏はそのひとつとして、「観光都市の第一印象であるイミグレーションの



改善が必要」と訴え、マカオの観光業界全体で問題提起をしているところだという。特にマカオ半島にあるマカオフェリーターミナルの施設は狭く、荷物受け取り時の混雑も激しい。しかし、マカオ国際空港の隣には新たに、香港からのフェリーが到着するタイバフェリーターミナルが一部オープンしており(現在新築工事中)、第一印象を高める玄関口としての期待は大きいと指摘する。

そのほか、渡邊氏は日本の旅行会社に注意してほしい点として、ホテル予約時のデポジットの存在を挙げる。「マカオでもアメリカのようにデポジットにとっても厳しくなっている。たとえば、到着する前に全額支払いを求めるホテルもある。東京や大阪のマカオを多く扱っている旅行会社はすでに知っているとは思いますが、全国的に周知を広めていく必要があるだろう」と話す。

また、2013年9月に行われる立法議会選挙についても言及。「7月から9月にかけては、ホテルの宴会場の確保が難しくなる」と注意を促した。



# 2013年 マカオ年間行事

# 2013 Macau Event Schedule

## 1 月 January

1 日 (火)

元日 (New Year's Day)

セナド広場やホテルでのカウントダウン、南湾湖での花火の打ち上げで終わる大晦日。翌1月1日は日本の正月と違い、レストランや商店の一部は閉まるものの、通常の休日程度。

## 2 月 February

10 日 (日) ~ 12 日 (火)

春節

(Chinese New Year Holidays)

中国旧正月(陰暦の1月1日)前後10日間は街のあちこちで、ドラゴンダンスやライオンダンスなど新年を祝うイベントが開催され、悪魔を追い払う爆竹が鳴らされる。一般商店は休業が多い。



16 日 (土) ~ 17 日 (日)

パソンス聖体行列

(Procession of the Passion of Our Lord, the God Jesus)

四旬節の最初の土曜日から日曜日にかけて行われるマカオのキリスト教信者にとって最も重要な宗教行事。



聖職者が十字架を背負ったキリスト像を担ぎ、聖オーガスティン教会から大堂(カテドラル)まで巡行。祈りを捧げた後、再び市内を通り教会へ帰る行事。この行列にはマカオのキリスト教信者はもちろん、信者でない人々も大勢参加する。

## 3 月 March

13 日 (水)

土地誕 (Feast of the God Tou Tei)

中国の行事。土地を支配し、守るといふ土地神は「土地爺」や「土地公」と呼ばれ、庶民に親しまれている。この神を祀った寺では多くの供え物が捧げられ、五穀豊穡を祈り獅子舞が行われる。

29 日 (金) ~ 30 日 (土)

復活祭 (Easter Holidays)

イースターホリデー。キリストの復活を祝う信者たちのお祭り。教会は華やかに飾り立てられ、街では復活祭にちなんだ卵型のチョコレートやウサギをかたどったアイテム等が販売される。またフェラル (Folar) というポルトガルの伝統的なエッグケーキも登場する。

## 4 月 April

12 日 (金)

北帝生誕祭 (Feast of Pak Tai)

世界各国、中華街があるところには必ず北帝廟があり、神格化された北帝が祀られている。タイパの北帝廟前には芝居小屋が組まれ、中国オペラが公演される。

## 5 月 May

2 日 (木)

天后節 (A-Ma Festival)

マカオの行事。船乗りの守り神「阿媽」の祭り。漁業関係者やその家族が一年の漁の無事を祈り、媽閣廟はきれいに飾られ、賑やかなドラゴンダンスやお供物が奉納される。

3 日 (金) ~ 6 月 1 日 (土) (予定)

第 24 回マカオ芸術祭 (24th Macau Arts Festival)



ヨーロッパ、アジアをはじめ世界各国から音楽、舞台、美術等の様々なジャンルのアーティストが集まり、各種のパフォーマンスが繰り広げられるフェスティバル。マカオ文化センターを中心に公演等が開催される。  
www.icm.gov.mo

13 日 (月)

ファティマ聖母の行列

(Procession of Our Lady of Fatima)

1917年にポルトガルのファティマに聖母マリアが出現した奇跡を祝う儀式。

ファティマ聖母の行列はマカオのカトリック教信者の間では重要な行事で、白い装束に身を包んだ少女達によって聖母像が捧げられ、聖ドミニコ教会からペンニャ教会まで厳かに行進する。



17 日 (金)

灌仏祭

(Feast of the Bathing of Lord Buddha)

お釈迦様の誕生日。(佛誕節) お釈迦様の生誕を祝って食事や酒が振る舞われる。天から9匹の龍が水を注ぎ産湯を使わせた伝説にちなんで仏像に水をかける。

18 日 (土)

インターナショナル・ミュージアム・デイ (International Museum Day)

マカオにある博物館の入場料が無料になり、9カ所の博物館を結ぶシャトルバスも運行される。

## 6 月 June

8 日 (土) 9 日 (日) 12 日 (水)

マカオ国際ドラゴンボートレース

(Macau International Dragon Boat Races)

舳先に龍の頭を飾ったボートが、南湾湖で力強いレースを展開する。大学生チームや海外からのチームも参加する。

12 日 (水)

端午節/ドラゴンボート・フェスティバル (Tun Ng Festival - Dragon Boat Festival)

中国に古くからある祭り。かつては腐敗した政治に抗議するために入水自殺をした詩人屈原をしのぶための儀式だった。今日では祈りをささげた後はにぎやかな祭りで盛り上がる。龍を象った22人乗りのボートが南湾湖で白熱のレースを展開。海外からのチームも参加。  
www.sport.gov.mo



中旬予定 (2012年は9日~17日に開催)

マカオ・ロータスフラワー・フェスティバル (13th Macau Lotus Flower Festival)

マカオのシンボルである蓮の花の祭。セナド広場や公園等が蓮の花で飾られる。



## 7 月 July

31 日 (水)

関帝祭 (Feast of Kuan Tai)

中国系コミュニティで商売繁盛の神として最も親しまれている関帝とは、三国時代の蜀の武将関羽のこと。後世に神格化され奉られている。セナド広場に隣接した三街会館は関帝を祀った廟で、関帝祭にはライオンダンスや京劇が催されている。廟は世界遺産に登録されている。

## 8 月 August

20 日 (火)

孟蘭節 (Feast of Hungry Ghosts)

中国の行事。別名「鬼節」。地獄の門が開いて、先祖の霊や成仏できなかった悪霊がこの世に戻ってくるという風習。来世で使えるように、玄関先や路上で紙製のお金や車を燃やしたり、果物や菓子などを供えて霊を鎮める。

## 9 月 September

14 日 (土) 19 日 (木) 21 日 (土) 28 日 (土) 10 月 1 日 (火)

第 25 回マカオ国際花火コンテスト (25th Macau International Fireworks Display Contest)

マカオが誇る伝統的な爆竹や花火産業の文化遺産保護を目的として1980年からスタート。世界10カ国のチームが参加し技を競う。南湾湖マカオタワー傍で一晩に2カ国が対戦。日本チームは上位入賞の常連。



19 日 (木)

中秋節 (Mid - Autumn Festival)

一年で最も月が美しい陰暦8月15日に行われる。別名「月餅祭り」。

## 10 月 October

1 日 (火)

中国建国記念日 (国慶節)

(National Day of the People's Republic of China)

中華人民共和国国慶節。翌日も公休日。

5 日 (土) ~ 11 月 3 日 (日)

第 27 回マカオ国際音楽祭

(27th Macau International Music Festival)

この音楽祭には世界中から一流のオーケストラ、歌手、聖歌隊、ミュージシャン等が集まり、公園や教会、ドン・ペドロ5世劇場やマカオ文化センターなど、街中のさまざまな会場でコンサートが開かれる。最大の呼び物は、伝統的に上演されているグランドオペラ。プログラムは約2カ月前に発表される。  
www.icm.gov.mo



13 日 (日)

重陽節

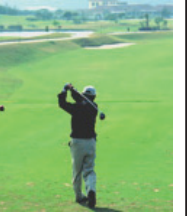
(Festival of Ancestors - Chung Yeung)

中国の行事。古代中国では9の数字を縁起の良い「陽」とし、9が重なる9月9日は重陽または重九とした。この日山に登り菊花酒を飲んで災難を逃れた故事から、先祖の墓参りをし、高い所に登って菊を見物し、災害が起きないように願う習慣がある。

24 日 (木) ~ 27 日 (日) 予定

マカオ・オープン・ゴルフ・トーナメント (Macau Open Golf Tournament)

毎年、マカオゴルフ&カントリークラブで開催。このトーナメントは国際的にも年々重要な大会となり、多くのトッププレイヤーが参加する。



25 日 (金) ~ 27 日 (日)

ルソフォニア・フェスティバル (Lusofania Festival)

ポルトガル文化を受け継ぐコミュニティ最大のフェスティバル。音楽、ダンス、ポルトガル料理の屋台などの催しが楽しめる。タイパのカルモ教会前からタイパ・ハウス・ミュージアムの周辺で開催される。

## 11 月 November

14 日 (木) ~ 17 日 (日)

第 60 回マカオ・グランプリ (60th Macau Grand Prix)



マカオの一大イベント。2013年は記念すべき第60回大会となる。モータースポーツ界で長い歴史を持つこの大会は、マカオの市街地がレース会場となるF3レース。F3の年間最終戦であり、多くのレーサーがここでチャンピオンになり、F1へステップアップしていった。日本からの観戦ツアーも毎年企画される。  
www.macau.grandprix.gov.mo

中旬予定 (2012年は9日~25日に開催)

マカオ・フード・フェスティバル (Macau Food Festival)

マカオタワー前の西湾湖広場に100を超す屋台が並ぶ。海外からの有名レストランも出店し、歌やダンスのステージも加わって、マカオ・グランプリなどの秋の祭典に楽しさを添える。



## 12 月 December

1 日 (日) (予定)

第 32 回マカオ国際マラソン (Macau International Marathon)

2012年は世界57カ国と地域から6000人がエントリー。タイパから橋を渡り半島部へ。種目はフルマラソン、ハーフマラソン、ミニマラソン(4.2km)がある。  
www.macaumarathon.com/jp



20 日 (金)

マカオ特別行政区発足の日 (Macau Special Administrative Region Establishment Day)

マカオの中国返還を祝い、盛世蓮花広場で特別式典が行われる。

24 日 (火) ~ 25 日 (水)

クリスマス (Christmas Holidays)



### 旅を便利にするスマホアプリ「Experience Macau」登場

マカオ観光局は、マカオ歴史市街地区を案内する旅行情報アプリ「Experience Macau」の配信サービスを開始した。

現在のところiPhoneに対応し、マカオの世界遺産やショップ、ホテル、博物館などの地図情報をはじめ、各施設の開館時間、イベント開催日時などを検索することができる。

また、オーディオガイド機能や旅行プランを作成する機能も搭載しており、アプリをダウンロードしておけば旅行中さまざまなシーンで活用することができる。

●「Experience Macau」  
www.macautourism.gov.mo/en/ezone/apps.php



アプリは英語と中国語（北京語・広東語）に対応。

このほか、マカオ交通事務局が提供するスマートフォン用アプリ「Traffic Information Station (アプリ名=DSAT)」も配信を開始。マカオの複雑なバスルートも出発地や目的地を入力するだけで検索できるほか、リアルタイムの運行状況も表示できる。言語は広東語とポルトガル語のみ。iPhone版とAndroid版を用意する。いずれもダウンロードは無料。

●マカオ交通事務局  
www.dsat.gov.mo/bus/en/bus\_forecast.aspx

### カジノ入場年齢が引き上げ 11月から21歳以上に変更

マカオ内にあるカジノの入場制限年齢が、2012年11月1日から21歳以上に引き上げられた。従来は18歳以上ならばカジノへの入場が可能だったが、新たな法律が施行されたことで、違反した場合、1000～1万パタカ（約1万1000円～11万円）の罰金が課せられる。また、カジノ側も1万～50万パタカ（約11万円～550万円）の罰金が課せられる。

ただし、カジノ入場者全員のパスポート検査等を義務づけるものではなく、入場可能年齢であれば従来どおり何も提示せずに入場できる。

## MICE 目的のマカオ訪問者数が昨年 59%増加 ミーティング需要が全体の8割以上、12年も増加傾向

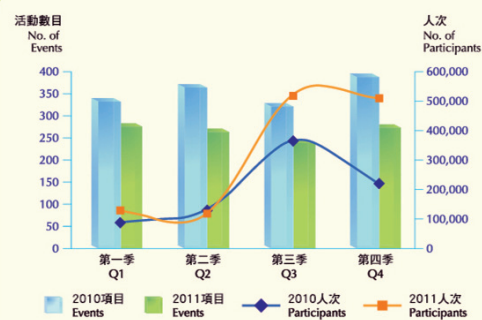
マカオ政府観光局（本局）がまとめたレポートによると、2011年に全世界からMICE 目的でマカオを訪れた人の数が、前年比59%増の127万8054人を記録した。イベント開催件数は同25%減の1045件だったが、大型展示会の開催などが人数増に寄与した。MICE イベントの平均開催期間は2.07日（前年は平均2.46日）。

2011年のMICE開催の内訳を見ると、イベント種目別で最も多かったのが企業によるミーティングで、全体の62%を占めた。次いで組織によるミーティングが14%、政府によるミーティングが10%の

順。このほか、大型コンファレンスが3%、インセンティブ旅行が6%、展示会/博覧会が5%の内訳だった。

人数別で見ると、MICE訪問者のうち91%を占めたのが展示会/博覧会の参加者で、イベント別で最も多かった企業ミーティングの参加者は5%のシェア。残りの4%は各種会議の参加者が占める。

2012年第1四半期（1～3月）時点のMICE需要も引き続き伸びており、3カ月間の延べ参加者数は前年同期より26%増の16万1781人。開催件数は同2%減の271件となっている。

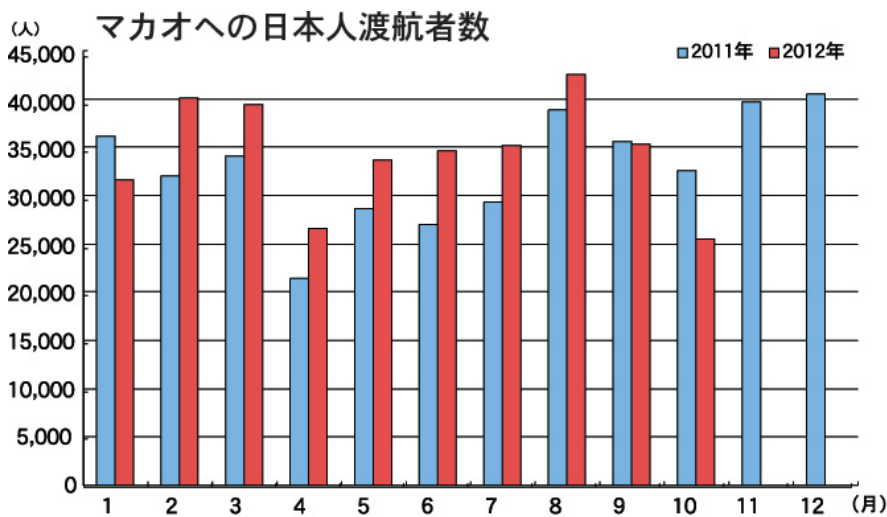


2011	項目 Events	人次 Participants
第一季 Q1	277	128,296
第二季 Q2	260	120,462
第三季 Q3	236	521,171
第四季 Q4	272	508,125
総数 Total	1,045 (-25%)	1,278,054 (+59%)

【出典：Principal Statistics on MICE Events 2011】



### マカオ全体図



### 2013 マカオ祝日・休日カレンダー

祭日	曜日	行事	
1月1日	(火)	New Year's Day	元旦
2月10～12日	(日～火)	Chinese New Year (Lunar New Year Holidays)	春節 (中国旧正月)
3月13日	(水)	Feast of the God Toutedi	土地誕
3月29～30日	(金～土)	Easter Holidays	復活祭
4月4日	(木)	Ching Ming (Tomb Sweeping Day)	清明節
5月1日	(水)	Labour Day	メーデー
5月17日	(金)	Feast of Buddha	灌仏祭
6月12日	(水)	Dragon Boat Festival (Tun Ng Festival)	端午節
9月19日	(木)	Mid-Autumn Festival Holiday (Chong Chao)	中秋節
9月20日	(金)	The Day Following Mid-Autumn Festival	中秋節翌日
10月1日	(火)	National Day of the People's Republic of China	国慶節 (中国建国記念日)
10月2日	(水)	The Day Following National Day of the People's Republic of China	国慶節翌日
10月13日	(日)	Festival of Ancestors (Chung Yeung Festival)	重陽節
11月2日	(土)	All Souls' Day (Dia de Finados)	追思節 (万霊節)
12月8日	(日)	Feast of Immaculate Conception	聖母マリア祭
12月20日	(金)	Macau Special Administrative Region Establishment Day	マカオ返還記念日 (マカオ特別行政区発足の日)
12月22日	(日)	Winter Solstice	冬至
12月24～25日	(火～水)	Christmas Holidays	クリスマス

### プロモーション資料

マカオ観光局日本事務所では、さまざまな現地情報を紹介するパンフレット等を用意しています。

- マカオ企業旅行・海外研修のご案内 ..... (12ページ・A4カラー)
- マカオを歩くウォーキングマップ (Walkabout MACAU) (48ページ・A4カラー)
- ポルトガルと中国が出会った街 マカオ ..... (24ページ・A4カラー)
- マカオ通信 (Macau Talkabout) ..... (8ページ、タブロイド版・隔月発行)
- センス・マカオ (Sense MACAU) ..... (8ページ、タブロイド版・年4回発行)
- 石畳の街マカオ ..... (DVD、13分)

※資料をご希望の方はFAXまたはメールにて、使用目的とグループの旅程表を添付の上ご請求下さい (送料のみ、ご負担下さい)

### MACAU INCENTIVE TOURS NEWS

#### マカオ インセンティブツアー 最新情報

2012年12月号 [通算第9号]

マカオ観光局 日本地区マーケティング・リプレゼンタティブ

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-9  
 平河町KDビル7階  
 TEL: 03-5275-2537 FAX: 03-5275-2535  
 E-mail: macau@milepost.co.jp  
 www.macautourism.gov.mo



マカオ観光局

インセンティブツアー担当者

- \* 府川 尚弘 (Naohiro Fukawa) 日本地区マーケティング部長
- \* 齋藤 純 (Jun Saito) 旅行会社担当
- \* 寺本 洸 (Takeshi Teramoto) 旅行会社担当
- \* 松本 二実 (Fumi Matsumoto) メディア担当